

事例 28

大阪府羽曳野市

人 口	121,111 人
高齢者数	19,209 人
高齢化率	15.86%
担当部署	高年福祉課介護保険推進室計画推 進係

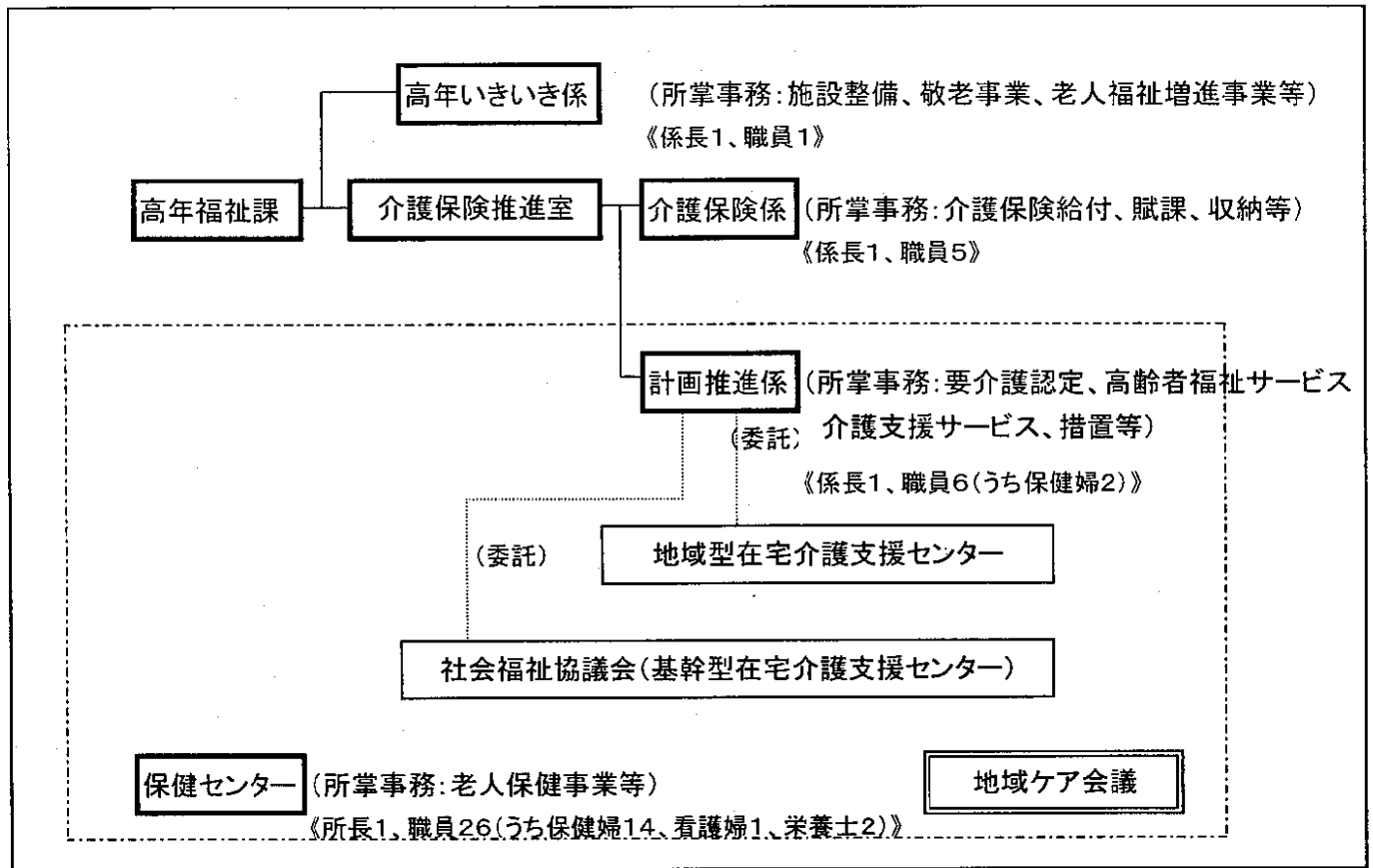
1. 市町村の概況

市町村の沿革・概要	<p>羽曳野市は、大阪府の東南部にあって、生駒、信貴、金剛、葛城などの山々に囲まれた河内平野に位置している。</p> <p>約2万年前からの歴史があり、古墳時代には、「白鳥伝説」で有名な日本武尊の白鳥陵古墳を始めとする古市古墳群が形成された。飛鳥時代には、仏教の隆盛に伴い、難波津から飛鳥までを結ぶ日本最古の官道である「竹内街道」が建設された。</p> <p>昭和34年に市制が施行され、日本武尊の白鳥伝説にちなんで「羽曳野市」と名付けられた。昭和53年には、南河内初の10万人都市となった。</p>														
	人口	121,111 人			高齢者数 (高齢化率)			19,209人 (15.86%)							
世帯数	65歳未満の者のみの世帯			65歳以上の者のいる世帯											
	30,997			単独世帯	65歳以上夫婦のみの世帯			その他							
要介護認定 (申請)者数	申請中			非該当			要支援			要介護1	2	3	4	5	合計
	140	3	293	841	621	430	365	329	3,022						
社会資源状況	指定居宅サービス事業所 (か所数)			訪問看護 (7)	訪問介護 (22)	通所介護 (9)									
				通所リハ (5)	短期入所系 (9)	その他 (12)									
	指定居宅介護支援事業所 (か所数)			22カ所											
	保健センター			保健センター 1カ所											
	在宅介護支援センター (か所数)			8カ所 ※保健福祉センターなど、保健・福祉が一体となった施設があれば、記入して下さい。											
介護予防事業の拠点となりうる場 (か所数) (公的施設以外も含む)			20カ所 (総合福祉センター、陵南の森総合センター、市民会館、保健センター、コミュニティーセンター2カ所、老人憩いの家4カ所、高年生きがいサロン2カ所、社協西部ステーション、地域型在介の併設施設7カ所)												
介護予防事業の担い手となりうる組織・団体 (組織・団体数・人員数)			28団体 名 (在介8カ所、羽曳野市老人クラブ連合会、シルバー人材センター、校区福祉委員会14ヶ所、地域ボランティア組織4カ所)												

(平成31年12月末現在)

※データについては、できるだけ直近のものをお願いします。

2. 市町村の高齢者保健福祉行政の組織図



- ※1 職員配置状況や所掌事務等についてもご記入願います。
- ※2 市町村直轄以外の在宅介護支援センター等についても組織図に書き込んでください。
- ※3 地域ケア会議等についても組織図に書き込んでください。

3. 「介護予防事業」を企画する前の状況について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 「介護予防事業」に関連(類似)する事業がありましたか?</p>	<p>(○) 関連(類似)事業があった。→問2～問4へ () 関連(類似)事業はなかった →問5へ</p>
<p>(問2) 実施していた事業は、どのような根拠に基づき、どの部局が所管していた事業ですか? また、その事業内容についてもご記入下さい。</p> <p>※既存資料で、事業内容等わかるものがあれば添付して下さい。</p>	<p>記入項目例：事業実施の根拠（国庫補助事業、県単独助成事業）、 所管部局、 事業内容（事業名、事業目的、対象者、実施回数、スタッフ等）</p> <p>根拠：国庫補助事業(生きがい活動支援通所事業) 所管：介護保険推進室計画推進係 事業内容：生きがいデイサービス事業 要介護認定で自立とされた高齢者を対象に、市立埴生小学校デイサービスセンターで、介護保険の通所介護と同時に実施 (社会福祉協議会に運営委託)</p>
<p>(問3) 上記事業の効果測定(評価)を行いましたか?</p>	<p>() 行った (○) 行っていない (具体的方法)</p>

3. 「介護予防事業」を企画する前の状況について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問4) 従来の事業を「介護予防事業」という形で見直したり、また新たな施策を企画することになった経緯について下記の様な点を含めて記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中心となった部局はどこか？ ・ 何がきっかけとなり、どのような判断をしたのか？ 	<p>従来の生きがいデイサービスは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護サービスと同時提供であり、元気な高齢者のニーズに必ずしも対応したものでない ・ 市内に1箇所しかなく、気軽に通える場ではない ・ 要介護認定で自立とされた人だけを対象としており、利用者が少ない <p>という問題点があった</p> <p>市内各地区に、高齢者の介護予防拠点として高年生きがいサロンを整備することが計画され、特に高齢者の多い地域(高鷲地区)に建設される2号館で、その地域の高齢者を対象とした、生きがいデイサービスの実施が計画された。</p> <p>地域の高齢者が気軽に使える、地域に密着した施設とするため、サロンの運営及び生きがいデイサービスの運営を、地域住民代表で構成する運営協議会に担っていただくこととし、高年福祉課を中心に、準備会を開催してきた</p>
<p>(問5) (問1)で、関連(類似)事業がなかったと答えた市町村にお聞きします。 今般、「介護予防事業」に取り組もうとしたきっかけは何ですか？</p>	

4. 「介護予防事業」の企画立案体制について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 「介護予防事業」の企画立案体制について下記のような点を含めて記入して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような場を利用し、どのような機関・団体等と協議したのか？ ・学識経験者や現場の担い手などの意見をどのように採り入れたか？ ・高齢者やその家族、地域住民等の参加する機会があったのか？ ・どの部局が中心となって企画し、他の部局との協力体制は、どうであったのか？ 	<p>平成12年10月16日から、合計5回、準備会を開催してきた 参加者：地区区長会、校区福祉委員、民生委員、婦人団体協議会、更生保護婦人会、ボランティア連絡会、老人クラブ連合会、老人保健施設の各代表及び、高年福祉課、保健センター、社会福祉協議会</p> <p>また、地区の区長会に参加させていただき、ボランティア募集の協力を要請した</p>
<p>(問2) 「介護予防事業」を企画する際、下記のような検討事項があったと思います。 貴市町村での検討事項と検討内容、その結果について記入して下さい。</p> <p>(検討事項例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズをどのように把握するか？(ニーズ把握の方法) ・事業対象者の選定方法はどうか？ ・事業に従事する人材をどのように確保するか？ ・既存の設備の利用が可能か？ ・新たな設備整備が必要か？ ・どの部局の事業予算をどのように確保するか？ 	<p>元々、校区福祉委員会やボランティア等の活動が活発な地域であり、介護予防事業を始めとする生きがいサロンの運営も、行政のみで実施するのではなく、地域で行えるよう検討した また、地域には、市全体の3分の1の高齢者が居住しており、多くの高齢者が気軽に利用するにはどうすればいいかを検討してきた</p> <p>地元で運営協議会を結成することとしたが、その構成員をどうするか検討。当初、区長、民生委員で準備会を開催していたが、ボランティアの確保、参加者の募集等もすべて地元で行うこととしたため、高齢者に関わる団体、個人になるべく幅広く参加してもらおうよう、老人クラブや婦人会、ボランティア連絡会等にも呼びかけ、参加してもらった。</p> <p>準備会の中では、いかに多くの高齢者に参加してもらおうかの方法について検討。利用料をなるべく低く抑えること、必要に応じて送迎もできるようにすること、地元老健の協力を得て、リハビリを実施できるようにすること、レクリエーションのプログラムについては、運営協議会が、参加者自身の声も聞いて決めるようにすることなどが決定された。</p> <p>各行政機関の役割について明確化。事業の最終責任は高年福祉課が担う。保健センターは、利用希望者を面接し、利用者の決定に加わる、デイのプログラム作りに助言する等、専門家としての役割を担う。デイの運営は社協に委託する…など。</p>

5. 「介護予防事業」の実施について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 企画した「介護予防事業」の内容について記入して下さい。</p> <p>※事業の実施要綱、事業概要があれば添付して下さい。</p>	<p>記入項目例：事業名、事業目的、対象者、事業内容、開始時期、実施回数（週、月）、実施体制（スタッフ、研修）、事業予算・補助金、事業所管課、他課との連携（協力）体制 等</p> <p><u>恵我之荘生きがいデイサービス事業</u> 比較的元気な高齢者が、自宅に閉じこもりきりになることなく、地域の他の高齢者とリハビリや趣味活動を通して交流し、いつまでも元気でいきいきと生活できることを目的として実施 対象者は高鷲地区（高鷲、島泉、恵我之荘、南恵我之荘）に居住する概ね65歳以上の高齢者で、歩行、食事等の日常生活動作が自力で出来るもの デイサービスは、午前 健康チェック及びリハビリ 昼食のあと入浴及びレクリエーション、おやつ （送迎及び入浴は希望者のみ） 平成13年3月19日より、週3回開催 運営は、社会福祉協議会（市より運営委託）及び運営協議会（準備会のメンバーに加えて地元ボランティア代表が運営委員に） スタッフは、社会福祉協議会職員（非常勤含め3名）と、広報及び地元で募集したボランティア40名弱 ボランティアは、事前に地元老健で2日間研修 所管は高年福祉課、保健センターの地区担当保健婦が運営協議会のオブザーバーとして加わり、利用希望者の面接及び、利用者の決定（運営協議会デイ部会にて）に参加する 生きがい活動支援通所事業として補助金を受ける</p>
<p>(問2) 住民に対して、どのように事業を周知しましたか？</p> <p>※周知するための広報資料の現物の写しなどがあれば添付して下さい。</p>	<p>ボランティア募集、参加者募集それぞれ広報及びチラシで周知 また、チラシは、民生委員から地域の独居高齢者等に配布 町会の集まりや回覧等で、ボランティア、参加者それぞれを募集 運営協議会各構成団体は、それぞれの団体内で呼びかけ</p>

5. 「介護予防事業」の実施について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問3) 「介護予防事業」の実施状況(実績)について記入して下さい。</p> <p>※貴市町村での実施状況(実績)をまとめた資料があれば添付して下さい。</p>	<p>記入項目例：事業名、事業費 年間実施回数 年間利用者数(実人数、延べ人数)</p> <p>※1年未満の事業の実施回数、利用者数については、実施期間内での実績を記入して下さい。</p> <p><u>恵我之荘生きがいデイサービス</u> 平成13年3月19日～12月末までの実績</p> <p>実施回数:111回 実利用者数:37人 延べ利用者数:946人</p> <p>事業費 委託料(社協・施設管理委託料含む):7,319,600円 給食委託料:558,600円 機能訓練委託料:1,885,779円 ボランティア研修謝礼:30,000円 消耗品費:17,640円</p> <p style="text-align: right;">計9,811,619円 (光熱水費等は、本事業分のみ抜き出すことは困難)</p>
<p>(問4) 現在実施している「介護予防事業」の実施状況を見て、うまくいっていると感じられるのはどのような点ですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歩いて通える距離にある施設での事業であるため、地域の高齢者が、近所の友達同士誘い合っただけで気軽に参加できている ○ 運営協議会を定期的に、また、必要に応じて随時開催しており、問題が起これば集団的に対処することができる ○ 当初より地域ボランティアの力に依拠して事業を運営しており、地域の高齢者を地域で支えるという機運づくり、また、参加者もボランティアも同じ地域の住民ということでの和気藹々とした雰囲気デイが運営できている ○ 地域で高齢者に関わっている民生委員などが対象者の情報を提供し、老健及び保健婦が専門家の立場でサービスに関する情報や医療的な情報を提供しており、地域と専門家の連携によるネットワークが構築されつつある

5. 「介護予防事業」の実施について

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問5) うまく事業をすすめるために工夫している点などがあれば記入して下さい。</p>	<p>運営協議会に、デイ部会(デイの利用者の決定、内容の検討)、ボランティア部会(ボランティアの募集等)、サロン部会(生きがいサロン全体の利用に関する事)の3つの部会を設け、それぞれの課題について随時集团的に検討する場を設けている</p> <p>定期的な懇談やアンケート調査によって、ボランティアの意見を聞き、ボランティアを含むすべてのスタッフが運営に主体的に関われるようにしている</p>
<p>(問6) 今後、課題と感じている点があれば、それについても記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高鷲地区の高齢者のみを対象としていること(他の地域でも同様の事業を実施する必要性) ○ デイの昼食、おやつについても、地元老健が調理して運んでおり、カロリー、栄養バランス等について計算されたものになっている。現在はそれを食べているだけだが、そこから発展して、日常の食生活の改善につながる勉強会、料理教室等を実施するなどしていきたい ○ 将来的に、運営協議会をNPO法人化し、そこに直接事業の運営を委託する方向である
<p>(問7) 現時点で課題と感じている点に対し、考えられている対応策等あれば記入して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 西浦地区に、高年生きがいサロン3号館を建設予定(同様の生きがいデイサービスを実施する)

6. 「介護予防事業」の評価について

※行政が主体となって実施する（直轄・委託）保健・福祉事業に対する評価について伺います。

質 問 項 目	回 答 欄
<p>(問1) 「事業ごとの評価」について伺います。</p> <p>①各事業メニューごとに評価を行っていますか？</p>	<p>() 行っている。→②へ</p> <p>(○) 行っていない。</p>
<p>②具体的な評価方法について記入して下さい。 (評価指標、評価時期、評価者等)</p> <p>※「事業ごとの評価」を行っている評価の資料があれば、添付して下さい。</p>	
<p>(問2) 「介護予防事業全体の評価」について伺います。</p> <p>①介護予防事業全体としての費用対効果をどのように評価していますか？ また、今後どのように評価したいと考えますか？</p>	<p>現在は評価を行っていない</p> <p>評価については、次期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画作成の中での課題と捉えている</p>
<p>②各種の介護予防事業関連施策における定量的あるいは定性的な評価指標などがあれば記入して下さい。</p>	<p>今のところありません</p>

高年生きがいサロン2号館の運営について

平成 12 年 12 月 6 日 区長会資料

(この間の経過について)

恵我ノ荘駅前に高年生きがいサロン2号館を建設(平成13年3月運営開始予定)

開館日: 月～土曜日

開館時間: 午前9時～午後5時

利用料金: 無料

1階部分: 老人いこいの家として、市民が自由に利用できる

入浴施設については、午後は市民が自由に利用できる

2・3階部分: 月～金曜日について、高鷲地区に住む一人暮らし等の高齢者の閉じこもり

防止と介護予防・自立支援のためのデイサービスを行う

地元で運営協議会を作り、ボランティアの組織など、運営に協力していただく

10月5日 区長会の会長・副会長との協議

10月16日 高鷲地区の区長・民生委員の代表との協議…準備会結成

10月26日 埴生小学校高年生きがいサロン見学、第2回協議

11月15日 第3回地元協議

(協議確認事項)

1 デイサービスについて

① 対象者

あくまで自立支援ということで、自立認定者が原則だが、地域の高齢者の閉じこもり

防止という趣旨から、要支援、要介護認定を受けている人も対象とする

ただし、食事、入浴などの日常生活動作について、自力で出来ることが必要

高鷲地区(高鷲、高鷲南、高鷲北、恵我之荘の各小学校区)に居住する人が対象

② 内容

レクリエーション、入浴、昼食等(プログラムは後述)

そこに、あったか村の理学療法士・作業療法士によるリハビリ等を加える

昼食は、あったか村で調理し、運んでくるものを温めなおし、配膳する

③ 運営

運営は、基本的に社会福祉協議会の職員が中心になって行うが、ボランティアとして

地域の方々の協力をお願いしたい

ボランティアとして必要な人数等は、表のとおり

時間帯	内容	社会福祉協議会	ボランティア				
			送迎(2名)	看護婦(1名)	介助(3名)	遊び講師(1~2名)	配膳・食器洗い(3名)
9:30							
10:00	健康チェック	利用者受け入れ	迎え				
10:30				健康チェック	入浴見守り		
11:30	入浴 遊び・歌など	入浴介助		入浴見守り	及び 遊び見守り		
12:00							配膳
13:00	昼食	食事介助					
13:30	講座・レク リハビリ	遊び、リハビリ介助			レク介助	レク・講座講師	食器洗い
15:00		利用者送り出し					
15:30			送り				
16:00							

ボランティアの必要人数 一人あたり2時間程度の活動時間とすると…

⇒1日あたり16人、5日で80人

介護方法等について、実習を含めた研修を行う

④ 利用者負担額

利用にかかる実費として、

- ・ 基本事業（リハビリ等）…350円
- ・ 食事…400円
- ・ レクリエーション等の材料費、おやつ代…100円
- ・ 入浴…50円
- ・ 送迎…90円

全員が負担する分 計850円

すべて利用する場合 合計990円

II 施設全体の管理・運営について

① 社会福祉協議会の業務

- ・ 運営協議会事務局
- ・ 施設・設備の管理（平日の開館・閉館業務を含む）
- ・ 施設・設備の故障・事故等の対応
- ・ デイサービス事業の運営

② シルバー人材センターの業務

- ・ 清掃（フロア、浴室、トイレ）
- ・ 利用者の受けつけ（名簿記入の確認、入浴順序の管理）
- ・ 午後の入浴者の見守り
- ・ 夜間利用があった場合の閉館業務
- ・ 土曜日の開館・閉館業務

③ 高年福祉課の業務

- ・ 生きがいサロンの利用申し込み受けつけ
 デイサービス以外で、10名以上での利用を希望する場合、高年福祉課への申し込みとなる（会食会、サークルなど）
- ・ 運営協議会への支援
- ・ デイ運営の協力

④ 保健センター

- ・ デイの内容の検討
 - ・ 機能訓練B型（自立の高齢者を対象とした運動・訓練）の実施
 - ・ 転倒予防教室（転倒・骨折予防のための体操、講座等）等の開催
- デイを実施しない日に、デイを利用していない人も参加できるような形で多くの人を集めて実施する

⑤ 運営協議会

組織体制（案）

